

素粒子物理学 中間レポート

学生番号：5324A057-8 氏名：宮根 一樹

最終更新：2024 年 6 月 21 日

1. 与えられたラグランジアンは

$$\mathcal{L} = \bar{\psi}^\alpha i(\gamma^\mu \partial_\mu - m_f)_\alpha^\beta \psi_\beta + \frac{1}{2}(\partial_\mu \phi)^2 - \frac{1}{2}m_\phi^2 \phi^2 + Y \phi \bar{\psi} \psi. \quad (0.1)$$

ただし、 α, β はガンマ行列 γ^μ の成分の添え字である。したがって、

$$\left\{ \begin{array}{l} \frac{\partial \mathcal{L}}{\partial \bar{\psi}^\xi} = i(\gamma^\mu \partial_\mu - m_f)_\xi^\eta \psi_\eta(x) + Y \phi(x) \psi_\xi(x), \\ \frac{\partial \mathcal{L}}{\partial (\partial_\mu \bar{\psi}^\xi)} = 0, \\ \frac{\partial \mathcal{L}}{\partial \phi} = -m_\phi^2 \phi + Y \bar{\psi} \psi, \\ \frac{\partial \mathcal{L}}{\partial (\partial_\mu \phi)} = \partial^\mu \phi \end{array} \right. \quad (0.2)$$

となっているので、オイラー・ラグランジュ方程式から運動方程式

$$(i\gamma^\mu \partial_\mu - m_f)_\xi^\eta \psi_\eta(x) = -Y \phi(x) \psi_\xi(x), \quad (0.3)$$

$$(\partial_\mu \partial^\mu + m_\phi^2) \phi(x) = Y \bar{\psi}^\xi(x) \psi_\xi(x) \quad (0.4)$$

が得られる。

2. $\gamma^\mu \partial_\mu = \gamma^0 \partial_0 + \gamma^i \partial_i$ であることに注意して、運動方程式の項を整理すると

$$i\gamma^0 \partial_0 \psi(x) = (-i\gamma^i \partial_i + m_f - Y \phi) \psi(x) \quad (0.5)$$

となる。ただし、イタリックの添え字 i は空間方向の添え字 $i = 1, 2, 3$ である。ここで、両辺に左側から γ^0 をかけると、 $\gamma^{02} = 1$ であるから

$$i\partial_0 \psi = (\underbrace{-i\gamma^0 \gamma^i \partial_i + \gamma^0 m_f - \gamma^0 Y \phi(x)}_{\text{波線の項}}) \psi(x) \quad (0.6)$$

となる。したがって、下線の項を H_0 、波線の項を $V(x)$ とすれば、確かに $V(x) = -\gamma^0 V(x)$ となっている。